

あきたの りょういいかちと

VOL. 480
2014.4.25



今月の
1枚

北阿気地区 塙払いの様子

菜の花の咲く頃に始まる、農業用水路の塙払い。農業者が一列に並んで泥やゴミ等を取り除く作業の様子は、農村の名物でもあるでしょう。脈々と受け継がれる作業は地域を守り、活性化にも繋がっています。

写真提供：佐々木 隆
(阿気土地改良区)

〔CONTENT 1〕 水土里ネット秋田第56回通常総会を開催

〔CONTENT 2〕 秋田県土地改良関係機関の紹介
平成26年度水土里ネット秋田事務局体制

本会第56回通常総会

3月24日(月)、本会第56回通常総会を秋田市文化会館で行い、会員117名(内委任状52名)が出席したほか、来賓として橋口昌道秋田県副知事、金田勝年衆議院議員等、多数のご臨席を賜った。



所用で欠席した高貝会長に変わり、正木副会長が「国、県の施策に対応した各種事業の円滑な推進に尽力することはもとより、会員皆様の事業推進に対する支援を始めとする従来からの事業展開に加え、会計システムに連動する賦課金徴収システムの導入など、新たなニーズにも応え、本県農業の体質強化や豊かで活力ある農村の創造に向け、役職員一丸となって邁進して行く」と挨拶を行った。引き続き行われた功労者表彰では優良7団体及び11個人が表彰された。橋口副知事からは「農家の方々とともに地域農業の将来の姿を描きながら、小水力など新エネルギーの活用を図ることを含め、生産基盤の整備や、農業・農村の多面的機能の維持・向上をリードしていくて頂きたい」とのご祝辞を頂いた。

議事では、柴田均理事長（羽後町土地改良区）



を議長に選任し、平成24年度事業報告・一般会計収支決算及び財産目録について、平成25年度一般会計収支補正予算（理事会専決処分）について、平成26年度事業計画・一般会計収支予算等が審議され、議案はすべて原案通り議決された。

平成26年度事業計画では、従来からの事業展開に加え、担い手へ集積を行うほ場整備事業や農地中間管理機構との連携による強い農業基盤づくりに対する支援、会計システムや賦課金徴収システム等による土地改良区への事務支援、水土里情報システム利活用の推進、小水力発電等の再生可能エネルギーに関する調査及び業務の実施、ため池調査への取り組みや農地防災・災害復旧の技術向上、農業水利施設内の「ゴミ」問題について日本型直接支払活動組織との連携、技術士事務所を強化し、成果品の審査機関として品質確保に努める活動を行い、更には、総合的な管理手法を用いた農業水利施設アセットマネジメント支援を展開していくこととした。

また、役員の補欠選任では、新たに理事として鈴木清理事長（男鹿東部土地改良区）、監事として真壁末治郎理事長（潟上市天王土地改良区）が選任された。

最後に、清野専務理事により「決議文」が朗読され、満場一致で採択された。

なお、表彰者は次のとおり。

団体表彰

- ◇金章 稲川土地改良区、本荘東由利土地改良区
- ◇銀章 かづの土地改良区、二ツ井町土地改良区
大仙市鶯野土地改良区
- ◇銅章 峰浜土地改良区、男鹿市渡部土地改良区

個人表彰

根本良己、近藤範夫、畠山篤美、吉田陽一、鈴木昇、相庭安一
伊藤みな子、畠山傳一、武田一美、佐藤貞夫、藤原繁朗（敬称略）



決議



農業は国の大本であり、豊かな国土や自然環境も、農業・農村が健全であって初めて維持されるものである。しかしながら、今日の農業・農村においては、過疎化、高齢化、担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積している。更に、TPP交渉の行方如何によっては、安全な食と農業、美しい農村に重大な影響を与えることが危惧される。

水土里ネットは、如何なる状況にあっても、農地・農業用水等の地域資源を良好な状態で次世代に継承していく責務がある。この責務の遂行に不可欠な農業農村整備予算は、平成22年度に大幅削減され、復活の兆はあるものの、真に復活したと実感できる規模には至っていない。

また、我々自身も組合員の高齢化、これに伴う世代交代の加速化、土地持ち非農家や耕作放棄地の増加、資源管理の粗放化等の多くの課題に直面しているところである。加えて、農業水利施設の老朽化が進行する中、国民の生命と財産を守るためにも、農村地域の防災・減災が喫緊の課題となっている。

こうした状況の下、政府は、農業・農村の所得倍増を目指し、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」、「国土強靭化」の実現に向け、「農林水産業・地域の活力創造プラン」や「国土強靭化政策大綱」を決定したところである。水土里ネットは、農業・農村、更には、我々自身が抱える課題を直視し、国が示した改革の方向を踏まえ、積極的な貢献を果たしていく覚悟である。

このため、新たな農政改革の初年度を迎えるに当たり、ここに参集した同志が一致団結して、次の事項の実現を図り、農業農村整備を推進していくことを総会の名において決議する。

記

- 一、安定的、計画的な事業執行のために、平成27年度当初予算において、平成22年度に大幅に削減された農業農村整備予算が復活したと実感できるような規模を確保すること。
- 一、TPP交渉により、日本の食の安全・安心を担い、多面的機能を発揮している農業・農村とこれを支える農家の生産意欲に、悪影響を及ぼすようなことは断固行わないこと。
- 一、食料自給率の向上と集落営農を含む担い手への農地集積の加速化を実現し、水田の大区画化や汎用化、かんがい排水施設の整備をはじめとした各種の対策を着実に推進すること。
- 一、国土強靭化を踏まえ、農業水利施設の長寿命化と耐震化、洪水被害防止対策等の防災・減災対策を、国が責任をもつて推進すること。
- 一、水土里ネットが有する技術と経験、地図情報システムを活用し、農地中間管理機構との連携の強化により、担い手の育成や面的集積に貢献すること。国においても、構造改革の進行が担い手の負担や水利用に与える影響に対して万全の措置を講ずること。
- 一、多面的機能支払制度を積極的に活用し、資源の適切な管理を通じて、構造改革を後押しするとともに多面的機能の発揮に貢献していくこと。国においても、地方負担や定着している現行の仕組みに十分配慮すること。
- 一、農業・農村が有する資源を有効に活用し、再生可能エネルギーの普及、維持管理費の低減に資するため、小水力や太陽光発電を推進すること。



平成26年3月24日
秋田県土地改良事業団体連合会 第56回通常総会
(水 土 里 ネ ッ ト 秋 田)

目次 CONTENTS

本会第56回通常総会	2	特集：我が水土里ネット	13
本会役員の紹介(写真入り)	4	馬場目川水系土地改良区・鈴木善久	
県関係機関の紹介(人事異動)	5	特集：隨想 本荘東由利土地改良区・伊藤みな子	14
新任挨拶	6	連合会日誌、会員だより	
県の土地改良関係課(事務分掌)	7	特集：地域からの情報発信	15
事業予算概要	8	水土里レポーター・倉田一治	
H26本会機構図及び事務局体制	10	平成26年度土地改良事業振興基金制度	16
本会 新任職員の紹介	12	ゴミ問題 シリーズ⑯ 水土里のゴミゼロDAY	
合併予備調印(由利本荘市)	13	ちょっと耳より知恵袋、編集後記	

水土里ネット秋田 役員の紹介

平成26年4月1日現在

◆会長



高貝久遠

◎秋田県田沢疏水土地改良区
理事長

◆副会長



正木正一

◎大内土地改良区
理事長

◆副会長



畠山清俊

◎比内町土地改良区
理事長

◆専務理事



清野弘久

◎員外(学識経験者)

◆常務理事



水戸憲光

◎員外(学識経験者)

◆理 事



長谷部誠

◎由利本荘市長

◆理 事



田中長

◎琴丘土地改良区
理事長

◆理 事



小畠元

◎大館市長

◆理 事



田口信一

◎かづの土地改良区
理事長

◆理 事



大坂芳市

◎雄勝郡山田五ヶ村堰
土地改良区理事長

◆理 事



柴田康二郎

◎秋田県雄物川筋土地
改良区理事長

◆理 事



松田知己

◎美郷町長

◆理 事



鈴木清

◎男鹿東部土地改良区
理事長

◆総括監事



藤井弘道

◎秋田県南旭川水系
土地改良区理事長

◆監 事



小川善信

◎能代南土地改良区
理事長

◆監 事



真壁末治郎

◎潟上市天王土地改良
区理事長

秋田県は4月1日付けで、平成26年度定期人事異動を発表しました。農林水産部及び各地域振興局の関係機関の主な担当者は次のとおりになりましたのでお知らせします。

【秋田県農林水産部】

部長・次長・参事・課長等の紹介 (H26.4.1現在)

部 長	奈良 博
森林技監	橋 政行
次 長	佐藤 博
次 長	出雲 隆志
次 長	小川 正
次 長	藤原 元吉
参 事 (県林業公社派遣)	沼田 行英
参 事 (兼畜産振興課長)	土田 正広
農業試験場長	渡辺 兵衛
果樹試験場長	藤井 芳一
畜産試験場長	伊藤 盛徳
農業研修センター所長	石田久美子
林業研究研修センター所長	福井 敬二
農林政策課長	難波 良多
農林政策課政策監	吉尾 聖子
農業経済課長	菊地 正隆
農山村振興課長	佐藤 暢芳
農山村振興課政策監	高野 尚紀
水田総合利用課長	菊子 正稔
水田総合利用課政策監	加賀 功
園芸振興課長	齋藤 了
農地整備課長	倉部 明彦
農地整備課政策監	瀧川 拓哉
水産漁港課長	大竹 敦
林業木材産業課長	橋場 忠則
林業木材産業課政策監	高松 武彦
森林整備課長	佐藤 龍司

【県地域振興局】

各地域振興局長及び農林部長名等は次のとおり。

[鹿角地域振興局]

◇局長：齊藤 譲 ◇農林部長：七尾清己

[北秋田地域振興局]

◇局長：熊谷 淳 ◇農林部長：高橋 徹

[山本地域振興局]

◇局長：下山 昇 ◇農林部長：高田清晃

[秋田地域振興局]

◇局長：伊藤邦夫 ◇農林部長：目黒久彦

[由利地域振興局]

◇局長：熊谷 譲

[仙北地域振興局]

◇局長：高橋訓之

[平鹿地域振興局]

◇局長：佐藤 功

[雄勝地域振興局]

◇局長：奥山 稔

◇農林部長：赤川淳美

[農林部]

◇農林部長：足達信廣

[農業試験場]

◇農林部長：長沢淳良

[農業研修センター]

◇農林部長：中村 章

【その他関係部署】

観光文化スポーツ部

次 長 保坂 龍弥

生活環境部

八郎潟環境対策室長 千葉 俊成

建設部

技術管理課技術管理監 高畑 新一

出納局

検査課技術管理監 佐藤 弘巳

【各地域振興局農林部農村整備課長・所長及び班構成】

◇鹿 角：齋藤憲一

(ふる里づくり班・生産基盤班)

◇北秋田：石井公人

(管理班・ふる里づくり班・生産基盤班)

◇山 本：石川 厚

(ふる里づくり班・生産基盤班)

◇秋 田：舛谷雅広

(管理班・ふる里づくり班・生産基盤第一班・

生産基盤第二班・生産基盤第三班)

◇八郎潟基幹施設管理事務所：石川一彦

◇由 利：菅原正喜

(ふる里づくり班・生産基盤班)

◇仙 北 農村整備第一課：長嶋 満

(管理班・ふる里づくり班・生産基盤第一班・

生産基盤第二班・生産基盤第三班)

◇仙 北 農村整備第二課：畠山敏博

(生産基盤第一班・生産基盤第二班・生産基盤
第三班)

◇平 鹿：阿部浩樹

(ふる里づくり班・生産基盤第一班・生産基
盤第二班)

◇雄 勝：佐藤 猛

(ふる里づくり班・生産基盤班)

新任のごあいさつ



秋田県農林水産部長

奈 良 博

水土里ネット会員の皆様におかれましては、日ごろから本県の農林水産行政、とりわけ農業農村整備事業の推進につきまして、格段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年12月、国では今後の農政のグランドデザインとなる「農林水産業・地域の活力創造プラン」を発表しました。その内容は、担い手への農地集積や6次産業化の推進等の産業政策と、日本型直接支払制度等の地域政策を、車の両輪として進めているものであります。

このプランは、農業を基幹産業とする本県に大きな影響を及ぼすものでありますが、このことを悲観的にではなく、むしろ反転攻勢の足掛かりとして捉え、長年の課題を克服し、力強い秋田県農業を創り上げていく必要があると考えております。



秋田県農林水産部次長

藤 原 元 吉

昨年度は農山村振興課長として、水土里ネット会員の皆様には大変お世話になりました。

昨年度は、県北部の豪雨、県南部の大雪により災害が多発した年であります。被害にあられた皆様には心よりお見舞いを申し上げますとともに、今後の営農に支障がないよう、被災された農業施設等の復旧・再建を引き続きしっかりと支援してまいります。



秋田県農林水産部農山村振興課長

佐 藤 暁 芳

水土里ネット会員の皆様には、日ごろから農業農村整備事業の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。着任に当たり、農山村振興課において、今年度特に重点的に取り組む二点についてお話をさせていただきます。

まず、一点目は、中山間地域等における活性化についてです。昨年末、国が公表した農政改革の一つである「日本型直接支払制度」が今年度からスタートします。この制度は、農山村地域の持つ多面的機能を発揮するため、地域住民の共同活動を支援するもので、当課では、県の耕地面積全てをカバーする意気込みを持ち、市町村や土地改良区と連携を図り、事業内容の十分な周知と掘り起こしを行ってまいります。

のことから、今年度からスタートする「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」に掲げた「国内外に打って出る攻めの農林水産戦略」に基づき、「農林漁業振興臨時対策基金」を有効活用しながら、今後の施策を展開してまいります。

土地改良関係の施策としては、水田フル活用の基盤となるほ場整備を進めるとともに、高品質・高収量を実現する地下かんがいシステムの整備や、農山村地域の持つ多面的機能を持続的に発揮するため、新たな日本型直接支払制度を活用し、農業生産活動の継続や農地・農業用施設の維持・保全活動等を促進することとしており、引き続き、関係機関、団体等との連携を図りながら、着実に推進してまいりたいと考えております。

国の土地改良関係予算は、近年厳しい状況が続いておりますが、力強い秋田県農業を造り上げていくためには、農業農村整備事業の果たす役割は非常に重要なものです。県いたしましては、引き続き予算確保に努めてまいりますので、これまで以上のご理解とご協力をお願いいたします。

終わりになりますが、水土里ネット会員の皆様の益々のご健勝とご発展を祈念いたしまして、新任のごあいさつとさせていただきます。

さて、昨年、国が発表した農政改革において、土地改良が主に関係する項目が2つありました。1つ目が農地中間管理機構の創設です。これは、担い手に農地を集積する新たな仕組みで、今後、基盤整備と併せて実施することで、より一層の事業効果が期待できるものです。2つ目が日本型直接支払制度の創設です。農業農村の多面的機能の維持向上を図るために、地域の共同活動や環境保全のための営農活動を支援するもので、従来の中間地域等の直接支払と併せて、農地水保全管理支払が拡充し実施されるものです。

いずれの制度におきましても、水土里ネット会員の皆様が効果的に活用できるよう、関係機関と調整を図り、積極的に情報提供してまいりたいと考えております。

今年度も引き続きよろしくお願ひいたします。

また、今般の農政改革により、狭隘な立地条件下で、高齢化等の進展が著しく大きな影響が懸念される中山間地域のポテンシャルが最大限に発揮されるよう、生産基盤の整備はもとより、生産から加工・販売、さらには担い手の育成等に至る一連のサポートを集中的に総合支援してまいります。

二点目は、ほ場整備事業をはじめとする農業農村整備事業新規地区の積極的な採択です。新たな農政の動きに対応するためには、農業生産の基礎となる農業用水やほ場等の生産基盤の整備が不可欠であり、こうした中、各地域で事業化の気運が急速に高まってきております。生産調整の廃止が見込まれるまでの数年間がまさに正念場であり、県では、こうした気運に応えるべく地元農家等の声に耳を傾け、熟度の高い地区の新規採択を図り、地域要望に対応した整備を加速的に進めてまいります。

終わりに、今後も会員の皆様と十分な連携を図りながら、事業の推進に努めてまいりますので、引き続き、ご理解とご協力をお願いします。

平成26年度

土地改良関係課事務分掌(秋田県)

(平成26年4月1日現在)

農地整備課

課長

倉部 明彦

政策監

瀧川 拓哉

(調整・企画班)

主幹(兼)班長
工藤 輝喜

副主幹
石井 幸樹

(土地改良指導班)

主幹(兼)班長
鈴木 宏保

副主幹
小関 裕紀

(水利整備・防災班)

主幹(兼)班長
高橋 信明

副主幹
須藤 邦彦
児玉 将一

(農地整備班)

主幹(兼)班長
阿部 喜孝

副主幹
小嶋 幸喜

(技術管理班)

主幹(兼)班長
佐藤 重孝

副主幹
後藤 哲也

専門員
藤原 隆則

主査
山田 敦史

主査
石井 崇努
鈴木 崇努

主査
高橋 忍

主査
成田 光明
保坂 学
畠山 真

主任
佐藤 恵一

主任
佐藤 則志
渡部 紘宣

技師
五十嵐 佳苗

主事
小野 雄策

技師
袴田 直幹

農山村振興課

課長

佐藤 暢芳

政策監

高野 尚紀

(調整・地域活性化班)

主幹(兼)班長
村上 旬

副主幹
鈴木 慎一
大友 秀樹

(地域環境保全班)

主幹(兼)班長
茂木 滿

副主幹
宮城 良春

(農村整備計画班)

主幹(兼)班長
齊藤 秀悦

主査
安部 研一郎
大山 結輝

(国土調査班)

主幹(兼)班長
相場 博隆
主幹
佐藤 栄美男

副主幹
釜台 和則

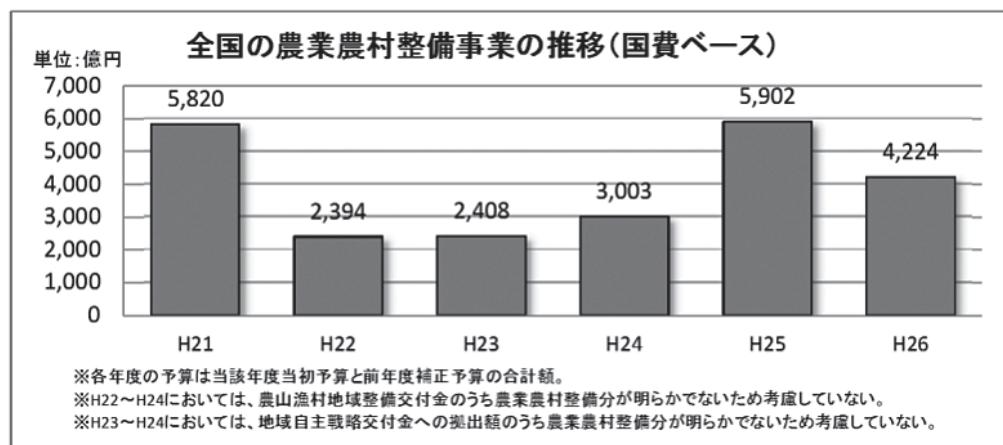
主任
橋本 崇
田中 佳輝

技師
高橋 愛

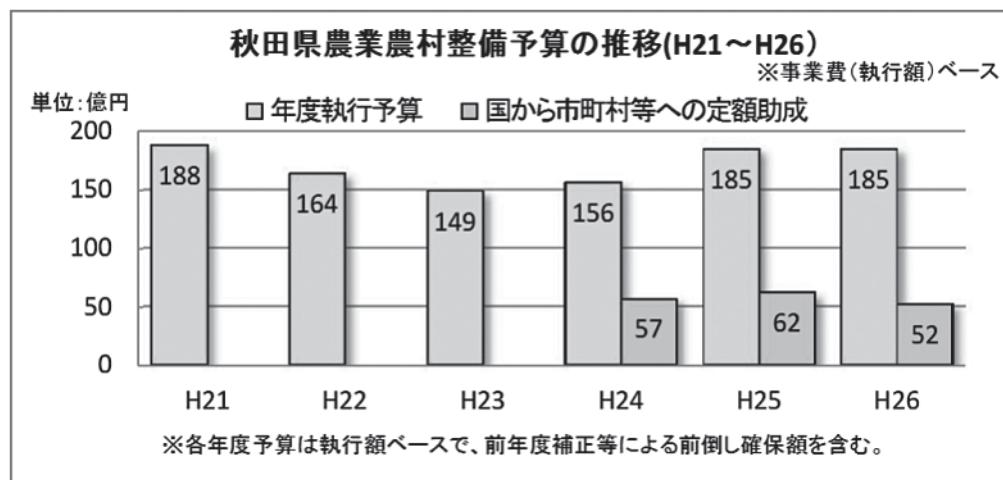
技師
高橋 真太郎

平成26年度農業農村整備事業等予算の概要について

○国のH26執行予算(H25補正含む)は、補助金と交付金を合わせると4,224億円(国費ベース)となり、前年比72%で大幅に下回る。



○県のH26執行額は、H25補正とH26当初を合わせ185億円を確保(対前年比100%)。



平成26年度からの新規事業について(秋田県)

①地下かんがいシステム導入支援事業(県営)

大区画ほ場整備が完了し、農業法人などの担い手に集積された団地を対象に、地下かんがいシステムの導入を支援するほか、戦略作物の育成調査及び各種試験に基づき、地下かんがい利用栽培マニュアルを作成し、県内への普及定着を図る。

(1) 地下かんがいシステム整備事業

補助率：国：50～55%、県：27.5%、市町村・農家：22.5%～17.5%

事業内容：地下かんがいシステム(地下水位制御装置、補助暗渠)などの整備

(2) 地下かんがいシステム普及推進事業

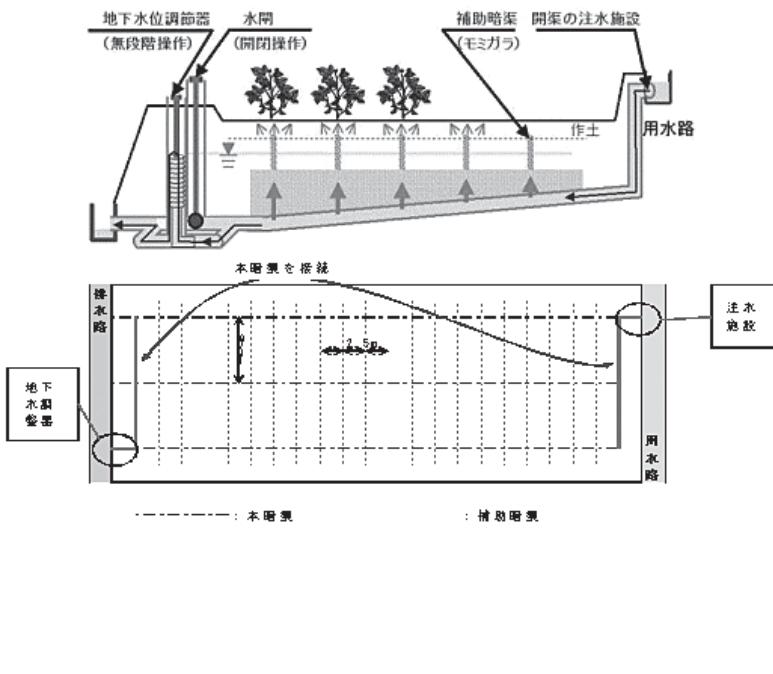
事業内容：現地ほ場における生育状況(収量・品質)、営農労力などの調査

試験ほ場(農業試験場内)の整備

試験ほ場における調査・試験と作目別地下かんがい利用栽培マニュアルの作成



○地下かんがいイメージ図



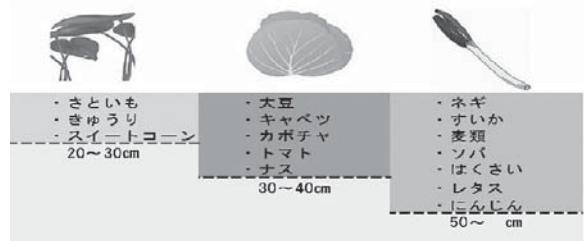
○地下かんがいの効果

◆実証ほ場における収量結果 (10aあたり)

作物	対象ほ場	実証ほ場	比較
えだまめ	477kg	585kg	約 1.2倍
ねぎ	2,000kg	3,500kg	約 1.8倍

H22年度試験ほ場の結果より

〈作物別の好適地下水位〉



②多面的機能支払交付金

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進する。

(1) 農地維持支払交付金

交付単価：田 3,000円/10a, 畑 2,000円/10a

事業内容：農業者等による組織が取り組む、水路の泥上げや農道の路面維持等の地域資源の基礎的保全といった多面的機能を支える共同活動を支援

(2) 資源向上支払交付金（共同活動）

交付単価：田 2,400円/10a, 畑 1,440円/10a

※継続地区又は施設の長寿命化の取組地区は、75%単価を適用

事業内容：地域住民を含む組織が取り組む、水路、農道等の軽微な補修や植栽による景観形成等の農村環境の良好な保全といった地域資源の質的向上を図る共同活動を支援

(3) 資源向上支払交付金（長寿命化）

交付単価：田 4,400円/10a, 畑 2,000円/10a

事業内容：農地周りの農業用排水路、農道などの施設の長寿命化のための補修・更新等の共同活動を支援

〈農地維持支払交付金の取組〉



〈資源向上支払交付金の取組〉



情報提供：秋田県農林水産部 農地整備課

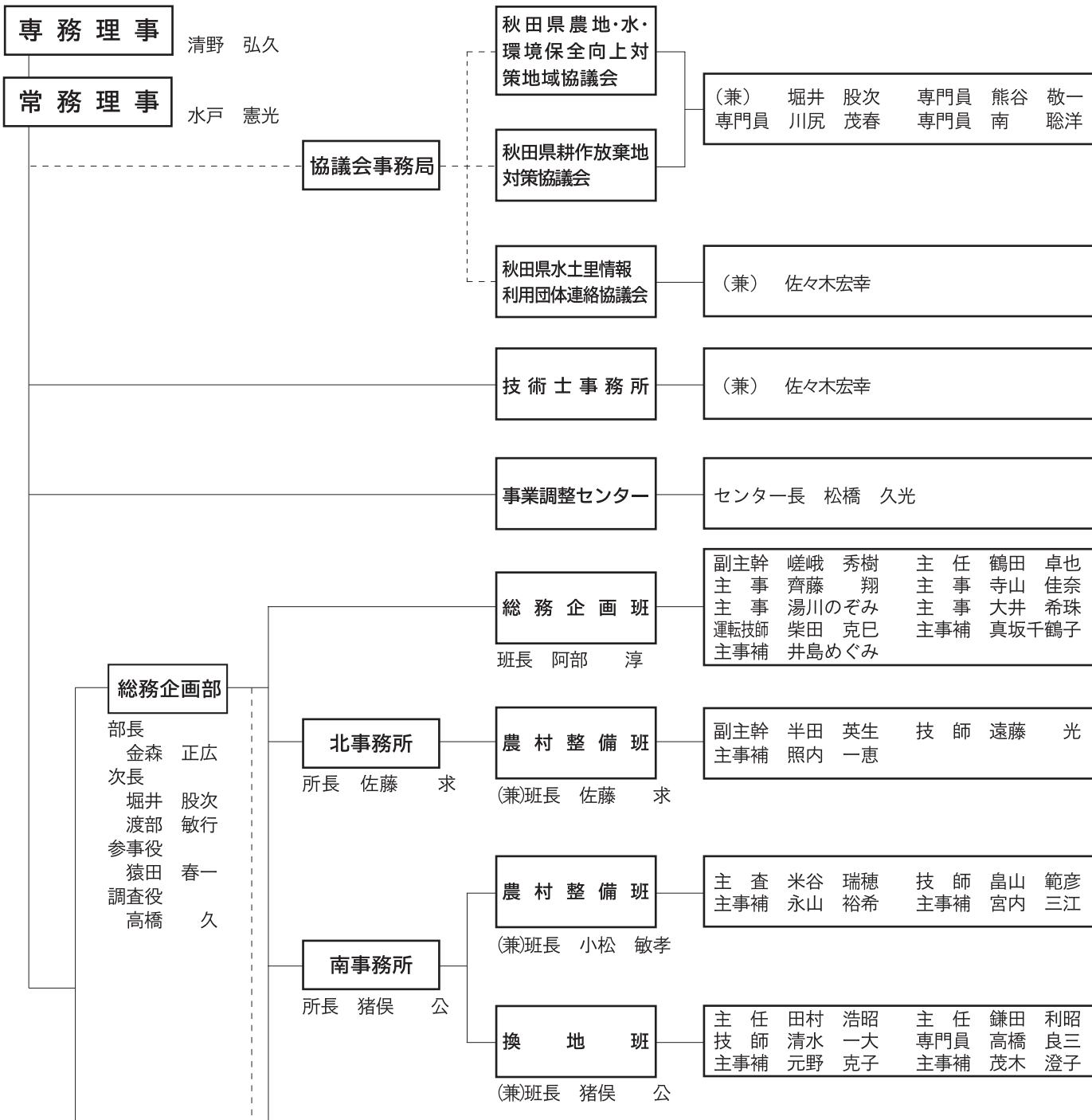
平成26年度事務局機構図及び職員配置

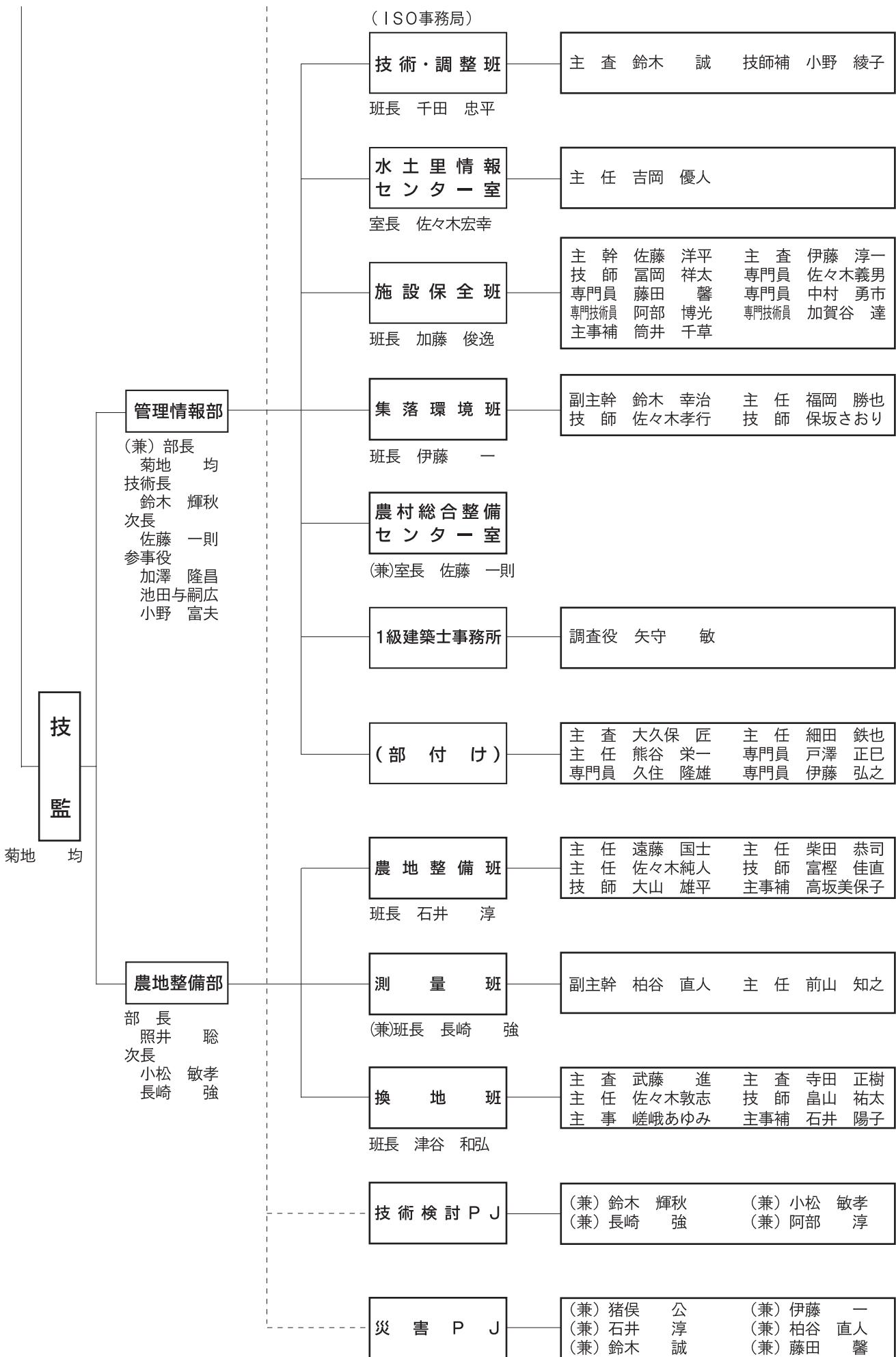
(平成26年4月1日付発令)

水土里ネット秋田は、平成26年度の人事異動を4月1日付で発令した。事務局体制は3部10班2センター室とし、2事務所(北・南)は総務企画部の管轄となっている。新体制として、各部で部長を一新した他、新規採用として職員7名、嘱託職員4名が採用となった。また、総務企画部は班を統合し総務企画班として、会員への支援体制を強化することとし、さらに多様化する事業への取組に関して調整・研究を行う「事業調整センター」を新設している。

平成26年度の事務局体制(機構図及び職員配置)は、次のとおり。

平成26年度 秋田県土地改良事業団体連合会事務局体制





水土里ネット秋田 新任職員の紹介

4月1日付の人事異動で、本会に新たに次の方々が採用となりましたので紹介します。

【 1. 所属・役職 2. 前職(出身校) 3. 主な資格 4. 抱負(自己PR) 】



菊地 均

1. 技監(兼)管理情報部長
2. 秋田県農林水産部農地整備課主幹
3. -
4. 実家の農業が少しでも楽になればという思いで土地改良の職に就きました。皆様からのご指導をよろしくお願い致します。



湯川のぞみ

1. 総務企画部総務企画班 主事
2. 福島大学人文社会学群 行政政策学類
3. 実用英語技能検定 準2級
4. 向上心と謙虚さを忘れずに、常に誠実な仕事を心掛けて参ります。皆様のご指導宜しくお願い致します。



大井 希珠

1. 総務企画部総務企画班 主事
2. 福島大学人間発達文化学類
3. 幼稚園教諭1種免許
4. 少しでも早く皆様のお役に立てるよう、頑張りたいと思います。ご指導宜しくお願いいたします。



熊谷 栄一

1. 管理情報部 主任
2. 管理情報部 専門員
3. 測量士補
4. 業務遂行のため、今までの経験を生かしながら、日々精進します。本会の一員として、会員の皆様のお役に立ちたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。



富岡 祥太

1. 管理情報部施設保全班 技師
2. 秋田大学工学資源学部
3. -
4. 学生時代は電気電子工学を専攻していました。少しでも早く皆さんの力になれるようにご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。



大山 雄平

1. 農地整備部農地整備班 技師
2. 秋田大学工学資源学部土木環境工学科
3. 測量士補
4. 秋田の農業の根本を担う事業に携わることのできるようこびと誇りを胸に、日々努力して参る所存でございますので、何卒宜しくお願いします。



畠山 祐太

1. 農地整備部換地班 技師
2. 東京農業大学地域環境科学部
3. 測量士補
4. 皆様にご迷惑のないように、活発に行動し、日々精進致します。皆様ご指導の程、よろしくお願い致します。



嵯峨あゆみ

1. 農地整備部換地班 主事
2. 山形大学人文学部法経政策学科法律コース
3. 高等学校教諭一種免許
4. 少しでも早く本会の一員として力を發揮出来るよう、日々精進したいと思います。皆様ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。



小野 富夫

1. 管理情報部 参事役
2. 秋田県農林水産部農山村振興課政策監
3. 技術士(農業・総監)、1級土木施工管理技師
4. 長く携わってきた土地改良の仕事を生かして、技術力向上のため頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



松橋 久光

1. 事業調整センター長
2. 秋田県鹿角地域振興局農林部長
3. VEL、教員 1種免許
4. 農業施設(農業現場)が変わる中、土地連の新たな役割を研究したい。



伊藤 弘之

1. 管理情報部 専門員
2. (株)眞宮技術
3. 上級農業集落排水設計士、農業土木技術管理士
4. これまでの経験を活かし、誠実に業務遂行したいと思います。



柴田 克巳

1. 総務企画部 運転技師
2. 秋田地域振興局総合企画部(秋田県庁)
3. -
4. 安全運転で頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

5土地改良区が合併に向け予備調印

由利本荘市

3月27日(木)、由利本荘市の5土地改良区の合併予備契約調印式が同市(本荘グランドホテル)で行われ、各土地改良区や県、市の関係者など約120人が出席した。

合併する5土地改良区は本荘東由利(小松忠彦理事長)、由利本荘市滝沢堰(板垣繁理事長)、鳥海町上川内堰(佐藤和行理事長)、大内(正木正一理事長)、西目(三浦昭夫理事長)となっており、27年4月、関係面積3,390ha、組合員数2,851人の「由利本荘市土地改良区」の発足を目指すことになった。

調印式では、合併推進協議会の正木正一会長の挨拶、県由利地域振興局の高橋信明課長の経過報告に続き、理事長5人が予備契約書に署名捺印し握手を交わした。また、立会人を務めた長谷部誠

市長が「農業・農村を取り巻く情勢は大転換期を迎えていく。合併により業務の効率化を図ることは、各土地改良区にとって急務の課題であり、農業振興にも不可欠なものと考える。引き続き連携を密にして、合併に取り組んでほしい」と挨拶を行った。

今後は、各土地改良区の総(代)会で合併決議し、関係者が新土地改良区の設立委員会をつくり、定款などを定め、合併認可申請の準備を進める予定。



「我が水土里ネット」

Vol.5



馬場目川水系土地改良区

事務局長 鈴木 善久

我が水土里ネット馬場目川水系は、平成25年1月31日に五城目町に事務所を置く3土地改良区(南秋田郡真崎堰、南秋田郡大川、南秋田郡五城目)の統合により、新たに馬場目川水系土地改良区(現在の関係受益面積902ha、組合員841人)として新設されました。

合併協議の際、合併に組合員の意見を反映されるため実施したアンケートの結果、合併に一番期待することは負担軽減(賦課金減額)だったことから、極力経常賦課金の賦課単価を下げるよう協議し全地区の減額が図れる水準までに達しました。その甲斐もあって実質合併初年度の平成25年度は、賦課金徴収率100%を達成するに至り、幸先の良いスタートを切ることができました。

土地改良区の業務は大きく分けると「水」と「面」の2つに分類されますが、本地区は「水」と「面」を、これまで別々の土地改良区及び水利組合で管理しており、殆どが重畠地区で合併により約4割が解消されたものの、残りの解消が今後の大きな課題でもあります。

本町は土地改良区加入率が低く、この合併を契機として町との連携を強化し、加入率を上げていくこと、そして将来は湖東地区全域の広域合併を目指し、更なる組織運営基盤の強化を図り、組合員の負担軽減及び地域全体を総合的に捉えた事業の施行に繋がっていくことを期待するものです。

様々な課題を克服していくことも大切ですが、まずは、馬場目川水系土地改良区が設立され良かったと組合員の皆様から感じて頂くことが一番であり、そのことを念頭に日々の業務運営に取り組んでおります。

「隨想」——シリーズ⑤

とつておきの場所

本荘東由利土地改良区

伊藤みな子



土地改良区にお世話になり30年近く経とうとしています。「由利は若い女性職員が多い」そう言われた時代もありましたが…。気持ちだけは若いつもりで日々頑張っております。

「土地改良区」については何も知識のない私でしたが、会計業務にて手書きとそろばん電卓の時代から、おぼつかないながらもPCと格闘しながら今日に至っております。

思い返してみると仕事に就いて間もない頃、当土地改良区の主要施設で旧東由利町にあります八塩ダムに、スコップと長靴を持つてもみじの植栽に行つたことが始まりだったような気がします。ダムの竣工以降、昭和40年代に町では桜やツツジなど2千本余りを植栽して、(一部黄桜が混じっていたとは、苗木屋さえも知らずにとの事。)その後、八塩いこいの森と名付けられ、キャンプ場やパークゴルフ場、遊歩道など灌漑施設としてばかりではなく憩いの場として環境整備が行われ、今では「黄桜の里」として市内外や、カメラの絶景スポットとして県外からも訪れるほどです。私自身、癒しや年代的に体力の増進の意味もあり、年に数回訪れてはダムの湖畔を周りその時々に季節感を味わっております。特に

土地改良区にお世話になり30年近く経とうとしています。「由利は若い女性職員が多い」そう言われた時代もありましたが…。気持ちだけは若いつもりで日々頑張っております。

「土地改良区」については何も知識のない私でしたのが、会計業務にて手書きとそろばん電卓の時代から、おぼつかないながらもPCと格闘しながら今日に至っております。

紅葉の頃は、最後の植栽に加わった事もあり、木々への愛着と共に俯瞰的に守られているような心地良い時間であります。昨年晚秋には、これまでにないほど鮮やかに湖面に映る紅葉に感動し、しばらくボーッと眺めていたことがあります。私のとつておきの場所となっています。

今年もまた「ダムさ行つて来る!」と言つて、癒しを求めて通いたいと思います。

最後に、ダムを望む八塩山中腹にある水源地として、ボツボツと湧き出る様子が由来のボツメキの湧水は、その場で飲むことや汲んで持ち帰ることもでき、地域の飲料水としてや、役員作付の酒米を使った日本酒にビールにと使われています。こちらにお越しの際は、是非、一度ご賞味下さい。



▲八塩いこいの森(紅葉)



▲八塩いこいの森(八重桜)



▲純米吟醸東由利



▲ボツメキビール

連合会日誌

4月15日	平成26年度水土里ネット秋田平鹿支部全体会	横手市
4月16日	T P P から食料・農業・環境を守る秋田県民総決起集会	秋田市
4月18日	秋田県農業再生協議会通常総会	秋田市
4月18日	平成26年度秋田県土地改良事業団体職員会秋田支部通常総会	秋田市
4月24日	平成26年度水土里ネット秋田仙北支部全体会及び仙北土地改良推進協議会総会	大仙市
今後の行事予定		
4月28日	平成26年度水土里ネット秋田雄勝支部全体会	湯沢市
4月30日	水土里ネット秋田大館・北秋田支部全体会	大館市
4月30日	平成26年度秋田県水土里情報利用団体連絡協議会通常総会	秋田市「秋田市文化会館」
5月1日	水土里ネット秋田鹿角支部全体会	鹿角市
5月2日	平成26年度水土里ネット秋田由利支部全体会	由利本荘市
5月2日	水土里ネット秋田山本支部全体会	能代市
5月14日	本会第1回監事會・理事会・役員会	本会「第1会議室」

会員だより

新理事長就任のお知らせ

次の方々が新たに理事長に就任されました。
○由利本荘市子吉土地改良区(H26.3.25)
 理事長 富樫 公一
○秋田市豊岩中央土地改良区(H26.4.4)
 理事長 崎峨 重美
○由利本荘市鮎川土地改良区(H26.4.5)
 理事長 畠山 孝久

事務所移転のお知らせ

※電話番号、FAXは従来どおり。
○大仙市西仙北土地改良区
 〒019-2335
 大仙市強首字ニツ橋151番地1
 (強首地区カントリーエレベーター地内)
○山本郡三種町下岩川土地改良区
 〒018-2302
 山本郡三種町下岩川字長面25-2

目指せ！ ～水・土・里のふるさと発見～

水土里レポーター 倉田 一治
(雄勝郡山田五ヶ村堰土地改良区事務局長)

中山間の地域興し!!



本地域は、東に栗駒国定公園、西は靈峰鳥海山に囲まれた横手盆地南端に広がる「雄勝平野」と呼ばれており、昭和46年～平成3年に30a区画のほ場に整備された湯沢市と羽後町に行政区をまたがる純農村地帯です。その中でも、湯沢市松岡地域は中山間地帯に属しており、住民からは「何もない村だよ。観光も物産も仕事もない。若者もいない。いるのは年寄りと熊だけさ。」という、「ないないづくし」の声が大半でした。

ところがどっこい、秋田県で取り組んでいる「Akita ふるさと活力人養成セミナー」の現地企画候補地に選定され、セミナー受講生の現地研修が行われたとたん、「山の恵みであるおいしい水」の存在。湯沢市が行った成分分析の結果、名水百選である○水よりも優れているとのこと。これには皆でびっくり。聞くところによると、噂を聞きつけた喫茶店や食堂の経営者が遠くから山道を車で走らせ、その湧き水を汲みに来るとか。昔話に出てくる征夷大将軍「坂上田村麻呂」が征伐したという豪族がここに住んでいたことから、「阿黒王(あぐろおう)名水」と名付けられているそうです。よそから嫁に来たかつての娘さん(^^;)が曰わく、「昔嫁いできたときから感じていたが、実家よりも米がおいしかった。水がおいしいと思った。」の一言。

また、同じく坂上田村麻呂が先勝を記念して建立したという伝説が残る「白山神社」には平安期の作とされ、県の重要文化財である女神像があり、旧暦の5月4日の夜は、きつね(狐)火があらわれ、近隣の神社から白山神社に集まるため、このきつね火が神社まで行列をなしていたという伝説もあった。住民たちからは、幼少の頃きつね火を見たという人もいれば、見ていないという人も。さきがけ新聞の「声の十字路」に投稿された「白山女神像が導いた結婚」の記事などが話題となり、願いがかなうパワースポットとして遠く愛知県から訪れた人もいるとか。元円谷プロの映画監督が手がけた自主制作映画までありました。

他にも、地元の旧松岡銀山で使用された坩堝(るつぼ)の技術が継承された「松岡焼き」、おいしい湧き水から生産される良質の米。いつの間にか、「何もない」から、普段地元では当たり前すぎて気がつかない、見過ごされがちな「大きな宝物」がありました。「おらほの村には何もない」から「大切な宝物」へ。この小さな発見が、やがて「地域興しの大きな輪」になってくれればと願わずにはいられません。



平成26年度土地改良事業振興基金制度のご活用を!

本会会員が土地改良事業を円滑に推進するため、補助金・公庫資金・賦課金等の受領までに一時に必要な「つなぎ資金」を、低利かつ速やかに融資することを目的としており、平成26年度は以下のとおりとなりますのでご活用下さい。

[債務保証限度、期間及び負担利子計画]

資金別	保証限度	保証期間	借入利率	利子補給率		借入団体 負担	
				借入10,000 千円迄	借入10,000千 円を超えた部分		
災害応急資金	出資金額の10倍	12カ月以内	1.925%	1.400%	0.700%	利子補給 以外を負担	
補助金	出資金額の30倍	6カ月以内	1.925%	1.400%	0.700%		
農林漁業資金	出資金額の30倍	3カ月以内	1.925%	-	-		
災 0.40~0.90%資金							
非 0.90%資金							
団 0.90%資金							
県 1.05%資金							
団体運営資金 (賦課金)	出資金額の10倍	8カ月以内	1.925%	1.400%	0.700%	利子補給 以外を負担	

■取扱金融機関 北都銀行本店

【申込窓口】総務企画部総務企画班 TEL.018-888-2714

注)10,000千円迄の借入は、借入団体0.525%の負担

ゴミ問題 シリーズ⑯ ▶▶ 水土里のゴミゼロDAY

5月30日(金)は、「ゴミゼロ」の日!
みんなでクリーンアップをしませんか。



「ゴミゼロ」の日は、本会8支部で一斉に農業水利関係施設周辺のクリーンアップを行い、新聞やTV、ラジオなどのマスメディアを通じて水土里ネットの存在を広く一般の人々に知ってもらうことを目的としています。

水土里ネットの活動を多くの方に知ってもらうためにも、皆様のご協力をお願い致します。

*場所等の詳細につきましては、HPや会報の号外でお知らせします。

△ちょっと耳より 知恵袋

3月27日、国内の水資源の保全を目的に水循環基本法が成立しました。

水資源の重要性が高まっている昨今、農業用水を管理する水土里ネットの役割もますます重要なものになっていくのではないかでしょうか。

水循環基本法の概要

<https://www.pref.vamanashi.jp/sinkan-som/documents/siryou3-2.pdf>

水循環基本法案全文

<https://www.zensuido.or.jp/front/bin/download.phtml?Part=watercycle2012&Nbr=1647&Category=4650>

編集後記

新しい年度がスタートしました。今年度から広報業務を担当することになりました鶴田です。
日本型直接支払制度、農地中間管理機構の創設など、我々水土里ネットを取り巻く環境は大きく変化しています。そういう社会の中で、水土里ネットがより一段と大きな役割を担うために、様々なサポートをしていきたいと考えています。

昨年度は、賦課・会計システム「ミラウド」の件で、たくさんの方にお世話になりました。システム稼働初年度ということで、研修会の開催も予定されており、県内水土里ネットの皆さんに直接お会いする機会も増えるかと思います。システム開発時と同様に、皆様からの様々な意見を取り入れて、より効果的な情報発信、広報につなげられるようコミュニケーションを重視して頑張っていきますので、よろしくお願い致します。

